

日本関西在職中国人交流協会設立 20 周年記念大会及び春節会

(1月26日天満橋錦城閣にて)

見本重宏

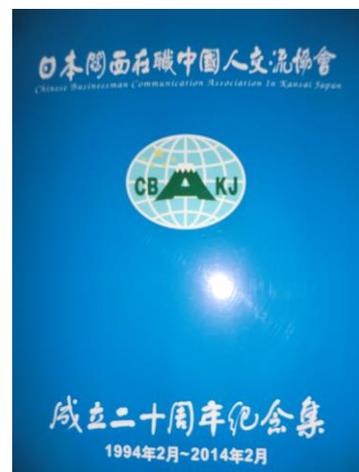
馮濤会長(第十代)のご招待を受け、初めて交流協会に出席させて頂きましたが、驚きの連続でした。駐大阪総領事館于淑媛副総領事始め各華僑総会・関係諸団体代表・日本人顧問等遠くは岩手県代表含め約 200 名が参加され、盛大に開催されました。馮濤会長(写真 2)は冒頭の挨拶で会の歴史を振り返り、「団結、交流、求实、発展」の趣旨に基づき運営し「20 年前の発足時 20 数名の小さなグループから関西地域で大きな影響力と呼び掛け力ある大組織に発展し、中国人間の情報交換から現在 9 倶楽部を持ち毎月豊富な多彩な活動を行い、在日華僑華人の精神と文化生活を豊かにすることが出来た」と共に発足当初から協会に対し多大なご支援を頂いた日本人顧問に対して感謝の辞を述べられました。また、吹田市日中友好協会とは非常に親密な関係をもたれている事も知りました。更に大阪府日中大藪副理事長と共に来賓紹介され、非常に恐縮したしだいです。お陰で多くの方々と交流ができ、心からお礼申し上げます。

記念式では各界代表の祝辞や歴代会長(写真 4)の紹介更に「成立 20 周年記念集」(写真 5)発行に伴う内容紹介が 2 代目会長常建華氏(写真 4)からあり、協会ロゴマークは当会とも懇意な于柏林(第七・八代会長)氏のデザインとの事。記念集は会の趣旨会則を含め、1994 年発足から現在に至る理事会や各活動の歴史、その時々時代の背景と共に写真や寄稿分で構成された非常に素晴らしい物です。

また交流協会は、中国国内の災害だけではなく阪神淡路大震災や東北大震災に対して募金活動他多大な貢献をされています。本協会を立ち上げられ、また社会貢献活動を行ってきた、初代会長郭強氏始め歴代会長、理事、各位に対し敬意を表します。

思えば、設立した 1994 年は私が父親の要請で関西日中平和友好会に入会した年であり、その意味で不思議なご縁を改めて感じました。当時私は会費をカンパ感覚で支払うだけの幽霊会員でしかなく、本格的に活動に参加したのは 2000 年頃と記憶しています。その意味で、協会歴代会長は大先輩に当たり、今後とも親睦を深め、手を携え逆風の中での日中友好活動を進めて行く所存です。非常に素晴らしい刺激になった会にお招きを頂き感謝しています。

昨年 9 月 29 日開催された西日本新華僑華人連合会主催の「建国記念式典」で神谷周三郎(本交流協会顧問)と知り合い、馮濤会長から同日夕方開催の交流協



会建国式典へのお誘いを受けたが、所要の為出席できなかった。今後も出会いを大事にして
いきたく思っています。

更に、後半の大抽選会では、くじ運の無い私が一等賞を頂きました。これも、「連携を深め
ろ」と云う神様の思し召しと理解しています。交流協会の益々のご発展を記念すると共に、こ
れをもって報告とします。



于淑媛副総領事



大藪協会顧問(府日中副理事長)



演奏会(左 Reiko Ozono)



2代目会長常建華氏(マイク)指揮の基に記念撮影の準備
一番左(当会法人会員伸栄産業(株)技術部白金昌様：来日 26年)